

2月の花 オオイヌノフグリ



春早く、土手や道ばたの日だまりに、空色の花が群らがついて咲いていた。それがオオイヌノフグリです。この花は、虫がやってきて花粉がめしべにつくと、しばらくして花びらがぼろりと下に落ちてしまうので、午後になると、花の数はずっと少なくなってしまう。夕方まで虫が来なかった花は、おしべが自然に曲がってめしべにつき、自分の花粉を渡すのだそうです。小さな花でも巧みなしかけを持っていることに感心させられます。

2月の行事

特別展 開化期の外人展

幕末より明治にかけて神奈川県を中心に活躍し、鉄道・水道・通信・医療など、日本の近代化に寄与した外国人とその事績を、写真・遺物・文献等をもって紹介します。

会期 2月17日(火)～2月22日(日)
会場 特別展示室 入場無料

●自然観察会「化石を調べよう」

2月15日(日) 雨天中止 9時～16時

場所：愛川町中津付近

内容：貝化石と地層の観察

申込：2月5日までに往復はがきで博物館へ

●星を見る会「太陽黒点を観察しよう」

太陽の表面に現われる黒点のスケッチをとりま

す。

・日時：2月22日(日) 11時30分～13時

・申し込み：2月12日までに往復ハガキで、多数の場合は抽選で30名。

●土曜観察会

(毎月第2・4土曜日、14時～17時)

2月14日 冬の雑木林 I 吉沢

2月28日 冬の雑木林 II こどもの森

●体験学習シリーズNo.50

「原色ドライフラワーを作ろう」

美しいお花を永遠に咲いたまま固定してみま

よう。

日時 昭和56年2月24日午後1時から3時

とりだし3月7日午後1時から3時

場所 科学教室 ×切りました

● 体験学習シリーズ No.51

『陶器を作ろう』

期日：3月3日4日5日6日の連続4日間

定員：30名 多い時は抽選

対象：一般成人男女

参加費：1人500円

申し込み：2月20日まで、往復ハガキで



● 星を見る会 「月を見よう」

春の空に輝く月令8の半月を観察します。

日時：3月14日(土)午後5時～7時

申し込み：3月4日までに往復ハガキで 多数の場合は抽選で30名。



★2月のプラネタリウム「日本の暦」

毎日の暮らしにカレンダーは、時計とともにかかすことのできないものです。この暦と呼んでいるものは、昔、日本ではどのようにして作り、使われてきたのでしょうか。



今月の魚

モツゴとスジエビ

最近、水草が茂り、魚がすむような池がなかなか見られなくなりました。大磯町生沢の東の池は、岸にはコガマが群生し、水面にはヒシが浮かんで、今でも多くの小動物のすみ家になっています。魚で多いのはモツゴ、いわゆるクチボンズです。モツゴは小型のコイ科の魚でよく見ると下唇が突き出し、受け口になっているのが特徴です。池に主にすみ、体長は大きくても10cmくらいにしかありません。スジエビはテナガエビ科に属する、代表的な淡水のエビです。水槽にはアメリカザリガニもいますから、エビとザリガニのちがいを気をつけてみてください。

(2階川の魚と漁のコーナーの水槽に展示してあります。)

